

令和7年  
2025年

6月2日  
月曜日

第11723号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料（前納）  
年間 82,080円  
（税込み）  
6カ月 42,120円  
（税込み）

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
https://www.shokuniku.co.jp/

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



チリポークが企業関係者など招き東京でチリポークセミナー開催……P6

- ▶ 単味品の減少幅縮小、ウインナーもわずかに減少—4月分の食肉加工品生産量……P2
- ▶ 令和6年肉用若鶏処理羽数は7億4913万羽で前年比0.5%増……P3
- ▶ [食肉流通統計・4月]と畜頭数は豚2.3%減、成牛は1.7%減……P3
- ▶ 全肉業連が第44回通常総会開催、「経済的地位の向上」に全力と渡邊会長……P4
- ▶ 日本羊腸輸入組合が総会開催、輸入可能国の拡大、持続可能な発展などに取り組む…P4～5
- ▶ 神戸食肉市場協が総会、関係者多数が出席……P5
- ▶ 令和6年度食料・農業・農村白書が公表、新基本計画や合理的な価格の形成のための取組、スマート農業を特集……P5
- ▶ チリポークが企業関係者など招き東京でチリポークセミナー開催①……P6
- ▶ 【東京食肉卸売市場】牛は買い気弱い、豚は強含みか……P7
- ▶ 【大阪市食肉卸売市場】牛は大きなイベントがなく軟調見込み、豚は変わらず高値が続く……P7
- ▶ ムルチバック・ジャパンが新潟支店開設、6月2日から業務開始……P7
- ▶ [資料]食肉加工品生産数量調査報告書（2025年4月分）……P8
- ▶ [資料]2025年4月分の食肉輸入通関実績⑨……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]30日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]30日……P11

## 注目のヘッドライン

### 単味品の減少幅縮小、ウインナーもわずかに減少—4月分の食肉加工品生産量

日本ハム・ソーセージ工業協同組合はこのほど、2025年4月の食肉加工品生産量を発表した。

…詳細はP2

### 神戸食肉市場協が総会、関係者多数が出席

…詳細はP5



改訂新版 **牛枝肉・部分肉の分割と商品化**

職人の技 カラー写真 丁寧な解説

新刊 B5判/216頁

定価 **5,500円** (税込) (送料別)

食肉通信社

## 単味品の減少幅縮小、ウインナーもわずかに減少 —4月分の食肉加工品生産量

日本ハム・ソーセージ工業協同組合はこのほど、2025年4月の食肉加工品生産量を発表した。それによると、全体の生産量は4万3544t(前年同月比2・9%減)と、引き続き前年を下回った。単味品はハム類が7527t(5・9%減)、ベーコン類が7497t(6・2%減)と前年を割り込んだが、下げ幅は1桁台で前月よりも小さくなった。プレス類は1876t(1・0%増)でわずかながら前月に続いて前年同月を上回った。生産量の多いソーセージ類は2万6644t(1・4%減)でわずかに減少した。

ハム類はロースハムが5351t(7・1%減)、その他ハムが853t(5・0%減)でどちらも前月のような2桁減とはならなかったが、引き続き減少。ラックスハムは

750t(0・4%増)、ボンレスハムは470t(1・4%増)と増加に転じた。ベーコン類はメインのバラベーコンが6870t(7・5%減)と減少し、ショルダーベーコンは419t(9・9%増)と増加した。ソーセージ類は大部分を占めるウインナーソーセージが1万9998t(0・3%減)とわずかに減少。フランクフルトソーセージが3217t(0・9%増)とわずかに増加し、ポロニアソーセージは1151t(3・2%減)と減少した。

プレス類は、プレスハムが336t(59・1%減)と前月に続き大幅減。チョップドハムが1540t(48・6%増)と大きく増加した。この他、オールポークソーセージは1万5664t(3・6%増)で前月に続き増加した。

[2025年4月の加工品生産量]

(単位：トン、%)

銘柄	生産数量	対前年同月比	2025年累計	対前年同期比
ロースハム	5,351.3	92.9	18,580.2	89.8
ボンレスハム	470.3	101.4	1,682.2	98.6
ラックスハム	749.5	100.4	2,692.9	95.8
その他ハム	852.5	95.0	2,944.5	81.6
ハム類計	7,526.9	94.1	26,321.7	90.0
チョップドハム	1,540.3	148.6	5,173.8	147.0
プレス類計	1,875.8	101.0	6,288.8	98.7
ベーコン	6,869.9	92.5	24,913.1	90.0
ショルダーベーコン	418.5	109.9	1,467.9	100.2
ベーコン類計	7,497.2	93.8	27,110.8	90.9
ウインナーソーセージ	19,998.2	99.7	73,012.7	97.7
フランクフルトソーセージ	3,217.2	100.9	10,004.5	95.4
リオナソーセージ	431.0	98.6	1,458.4	90.4
ポロニアソーセージ	1,151.3	96.8	4,267.7	95.3
無塩漬ソーセージ	839.7	97.1	3,092.0	95.7
その他ソーセージ	372.2	60.5	1,427.3	84.9
ソーセージ類計	26,643.6	98.6	95,326.8	96.8
ポークソーセージ	15,664.2	103.6	56,553.7	100.8
総合計	43,543.5	97.1	155,048.1	94.6
ハンバーグ類	1,879.7	90.0	6,948.5	92.9
やき豚	1,835.7	111.1	6,248.5	108.5
その他	4,055.4	95.6	14,354.9	97.5

## 令和6年肉用若鶏処理羽数は7億4913万羽で前年比0・5%増

農水省は5月30日、令和6年食鳥流通統計調査結果を公表した。

それによると、肉用若鶏(孵化後3カ月齢未満)の全国の処理羽数は7億4913万羽、処理重量は227万2638tで、前年に比べそれぞれ0・5%、1・0%増加した。

また、廃鶏の全国の処理羽数は7775万1千羽、処理重量は13万7644tで、前年に比べそれぞれ3・8%、4・

6%増加した。

その他の肉用鶏(孵化後3カ月齢以上)の全国の処理羽数は117万1千羽、処理重量は3416tで、前年に比べそれぞれ2・2%、1・0%減少した。

食鳥の種類別の処理量(全国)(令和6年)

食鳥の種類	処理量(生体)		対前年比	
	羽数	重量	羽数	重量
	千羽	t	%	%
肉用若鶏	749,130	2,272,638	100.5	101.0
その他の肉用鶏	1,171	3,416	97.8	99.0
廃鶏	77,751	137,644	103.8	104.6

○ 「処理羽数」及び「処理重量」は、食鳥処理場が食鶏を食用に供する目的で処理した生体の羽数及び重量をいう。

なお、調査対象は、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律(平成2年法律第70号)に基づき都道府県知事の許可を受けて設置された食鳥処理場であって、年間処理羽数が30万羽以下の施設で都道府県知事から食鳥処理の確認規程について認定を受けた認定小規模処理場を除く食鳥処理場である。

## 【食肉流通統計・4月】と畜頭数は豚2・3%減、成牛は1・7%減

農水省統計部が発表した4月の食肉流通統計によると、全国の豚と畜頭数は137万6271頭(前年同月比2・3%減)と下回った。枝肉生産量は11万652t

(1・9%減)となった。豚卸売価格(省令)は607円(1・3%高)で、東京は599円(2・4%安)、大阪は649円(11・1%高)だった。

一方、成牛と畜頭数は9万4940頭(1・7%減)と減少し、このうち和牛は計4万8015頭(3・1%増)、乳牛は計2万4105頭(10・3%減)、交雑牛は計2万2693頭(1・6%増)となった。成牛の枝肉生産量は4万3643t(1・7%減)と前年を下回った。

全国と畜頭数、枝肉生産量

区分		と畜頭数(頭)		枝肉生産量(t)		前年比%	
豚		1,376,271	97.7	110,652	98.1		
成牛計		94,940	98.3	43,643	98.3		
和牛	和牛計	48,015	103.1	22,958	103.8		
	雌	23,646	106.2	10,246	107.8		
	去勢	24,349	100.3	12,705	100.8		
	雄	20	64.5	7	64.8		
乳牛	*乳牛計	24,105	89.7	8,826	86.5		
	雌	14,934	95.6	4,806	95.5		
	去勢	9,145	81.3	4,012	77.6		
	雄	26	173.3	8	251.6		
交雑牛	交雑牛計	22,693	101.6	11,837	101.2		
	雌	10,498	98.4	5,147	98.0		
	去勢	12,193	104.5	6,689	103.7		
	雄	2	50.0	0.9	90.0		
その他の牛計		127	17.1	22	5.8		
その他の牛雌		17	20.0	5	18.2		
その他の牛去勢		101	15.7	13	3.7		
その他の牛雄		9	81.8	4	81.3		
子牛		415	77.9	42	88.6		
馬		892	104.0	382	100.2		

\* 22年1月分調査より「乳牛」は乳用種の牛、「交雑牛」は乳牛と和牛、乳牛と外国種の交雑種として分離した。

枝肉の卸売価格

区分	東京市場		大阪市場		
	価格	前年同月比	価格	前年同月比	
和牛去勢	A5	2,510	100.6	2,594	104.1
	A4	2,269	104.8	2,288	110.8
	A3	2,142	105.5	2,012	103.6
	A2	1,805	114.8	1,526	-
交雑種去勢	B3	1,612	100.4	1,624	99.1
	B2	1,496	100.3	1,457	-
乳牛去勢	B3	-	-	1,251	-
	B2	1,185	128.0	-	-

豚の枝肉取引頭数及び卸売価格(極上・上規格)

	頭数	前年同月比	価格	前年同月比
主要卸市場計	79,055	97.4	607	101.3
うち東京	6,292	90.8	599	97.6
大阪	422	67.3	649	111.1

## 全肉業連が第44回通常総会開催、「経済的地位の向上」に全力と渡邊会長

全国食肉業務用卸協同組合連合会(渡邊道彦会長=上写真)は5月29日、東京都港区のザ・プリンスパークタワー東京で第44回通常総会を開催した。

冒頭のあいさつで渡邊会長は「農水大臣も交代し、また、米の不足と高騰もあり、農政改革がさかんに叫ばれているが、畜産の分野と食肉業界、食肉の消費にどのような影響を与えていくかは冷静に見定めなければならない。今後も当連合会の定款第1条にうたわれているように会員および組合員の『経済的地位の向上を図る』ことに、全力を尽くしていく」と述べた。

来賓からは農水省畜産局食肉鶏卵課食肉需給対策室の上田泰史室長(下写真)が「日頃より国産も含めた食肉の安定供給にご尽力いただき感謝申し上げます。また、日本の畜産業と食肉産業のより一層の発展のため、政府挙げて国産食肉の輸出に注力している。引き続きご理解、ご協力をお願いしたい」と祝辞を述べた。

議事に移り、令和6年度(44期)事業報告、令和7年度(45期)事業計画および予算収支計画などが満場一致で承認された。

総会後に行われた懇親会には、菅義偉元首相が

「秋田県の農家の出身である私が政治家として一貫して取り組んできたテーマは畜産も含めた『農林水産業の振興』と『地方創生』であり、総務大臣時に創設した『ふるさと納税』制度では最も人気のある返礼品は黒毛和牛肉など国産食肉となっている。これも皆さんの尽力の賜物と感謝申し上げます」とメッセージを寄せた。

来賓からは上田室長、農畜産業振興機

構の天羽隆理事長、日本食肉輸出入協会の鎌川浩之専務理事、米国食肉輸出連合会の加藤悟司ジャパンディレクター、カナダビーフ国際機構の清富一郎駐日代表らが祝辞を述べた。



## 日本羊腸輸入組合が総会開催 輸入可能国の拡大、持続可能な発展などに取り組む

日本羊腸輸入組合は5月29日、東京都品川区のホテルマイステイズ五反田駅前第62回通常総会を開催し、令和7年度事業計画などの提出議案を原案どおりに承認した。

松永大介理事長(写真)は冒頭、「昨今の世界経済は、不安定な国際情勢や地政学的リスクの高まり、物価上昇や円安の影響を受け、先行き不透明な局面に差し掛かっている。特に、米国による関税措置、エネルギー価格の高騰、そして為替市場の変動など、われわれ輸入業界にとっては極めて重要かつ深刻な課題が山積している」と述べた。また、「こうした状況下で安定した原料供給を確保し、引き続き食肉加工業界を支えていくためには、いくつかの重要

な取り組みが求められる」として、輸入可能国の拡大、サプライチェーンの一翼を担う責任を果たすこと、持続可能な発展に向けた取り組み—の3点を注視すべきポイントに挙げ、それらの内容を説明した。

続いて、経済産業省貿易経済安全保障局農水産室の中村拓室長補佐が「羊腸を含め、農産物や食品は人々の生活に不可欠なものであるため、引き続き安全・安心な輸入を期待する。経済産業省としては、



羊腸の安定的な輸入に取り組む組合員の皆さまをサポートしていきたいと思う」とあいさつした。

今年度の事業計画としては、天然ケーシング業界

の健全な発展に資する事業、セミナーや勉強会を通じた組合員の共通利益増進に資する事業、関係機関との連携などに取り組んでいく。

## 神戸食肉市場協が総会、関係者多数が出席

神戸食肉市場協同組合(池尾隆文理事長=写真)は5月29日、神戸市長田区の神戸飯店で第47回通常総会を開催した。議事では共同購買事業の月別の牛・豚・部分肉の販売量、金額や組合員数、決算概要が報告され、次期収支予算案などが承認された。

総会後の懇親会では、開催に先立ち、先ごろ逝去した米祐前理事長に対して組合員一同から黙祷が捧げられた。続いて登壇した池尾理事長は「米祐さんが亡くなられて暗い気持ちになるが、市場協同組合一丸となり、皆さまのご協力の下、明るい話をできるように一層努力していきたい」とあいさつ。続いて来賓あいさつとして神戸市中央卸売市場西部市場の上田訓弘場長が「神戸空港の国際チャーター便が4月に運行を開始し、2030年に本格稼働の予定となっているようで、さらに多くの方がたに来ていただけるチャンスになる。その際は、おいしいお肉でのおもてなしが重要であり、それは皆さまのご協力がなければなし得ないこと。引き続き神戸の街を盛り上げるという意味でも一層のご支援・ご協力を賜りたい」とあいさつ。

続いて神戸中央畜産荷受(株)の丸橋弘資社長が「市場を取り巻く環境は大変厳しい状況だが、出荷



団体・生産者の力添え、ご支援のおかげで、前年度から取扱数量を伸ばすことができた。今以上に衛生的な処理に注力し、安全・安心な食肉を提供できる市場として、皆さまに安心してご利用いただけるように励んで参りたい」と出席者への謝辞を述べた。

また、出荷団体を代表して全農兵庫県本部畜産部の田口元茂部長が「牛肉を取り巻く環境は大変厳しいものがあるが、神戸市場へ出荷を行っている団体として、1頭でも良い牛を集荷してまいりたい」と強調。来賓紹介・祝電披露のあと、神戸食肉事業協同組合の辰己真一理事長が、米前理事長へのこれまでの感謝を語り、献杯。懇親に移った。

## 令和6年度食料・農業・農村白書が公表 新基本計画や合理的な価格の形成のための取組、スマート農業を特集

政府は5月30日、「令和6年度 食料・農業・農村白書」を閣議決定した。今回の白書では、農業・農村基本法に基づく「新たな食料・農業・農村基本計画の策定」や、持続的な食料供給の実現に向けた「合理的な価格の形成のための取組を推進」、農業現場での取り組みが進んでいる「スマート農業技術の活用と今後の展望」を特集のテーマとしている。

世界の食料需給とわが国の食料供給の確保、農

業の持続的な発展、農林水産物・食品の輸出促進など七つの章から成っており、その他、6年度における特徴的な動きとして、①農林水産物・食品の輸出促進②みどりの食料システム戦略の進展と消費者の行動変容③女性活躍の推進④農福連携のさらなる推進⑤令和6年能登半島地震等への対応——などをトピックスに盛り込んでいる。

## チリポークが企業関係者など招き東京でチリポークセミナー開催①

チリの豚肉輸出企業で構成されるチリポークは5月27日、26日の大阪万博内で開催したイベントに続き、東京都港区の明治記念館にチリ産豚肉を取り扱う日本の企業関係者やメディアなど約100人を招いてセミナーを開催。チリポークを構成するアグロスーパー、コエクサ、マックスアグロ、アーサの幹部も数多く来日した。

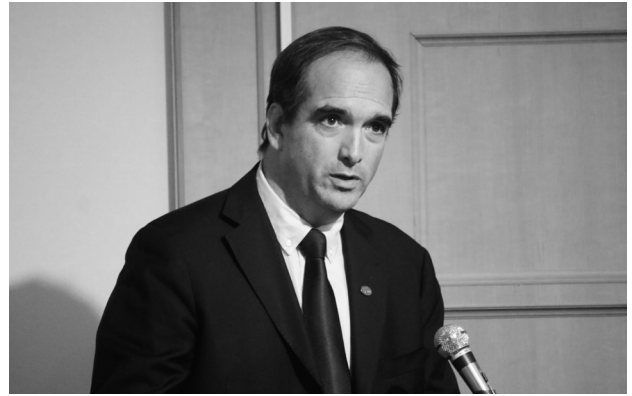
セミナーは3部制で行われ、第1部ではメディアを対象にした会見(詳細は後日掲載)、第2部は専門家による技術セミナー、そして第3部ではチリポークを含め、チリ産食材を使用したさまざまなメニューが提供された夕食会が行われた。

セミナーは、はじめにチリの魅力を紹介する映像が放映され、続いてディセニ・ヌリー駐日農業・商業担当公使があいさつした。

また、チリカルネ(チリ肉類輸出業者協会)のドミンゲス・ファン・カルロス会長(写真)は「2年前のセミナーでCPTPPの話をしたが、その後、チリと日本の関係は新たなステップに進んだ。昨日は大阪万博でイベントを開催したが、チリポークが東京以外の都市でプレゼンを行ったのは初めてであり、非常に素晴らしい機会となった」と述べた後、チリの豚肉産業について次の通り講演を行った。

チリは、北はアタカマ砂漠、東はアンデス山脈、西は太平洋、南はパタゴニアと太古の氷河が広がり、この地理的な特性によってさまざまな疾病の脅威から守られている。また、チリの保健当局は国際的にも高く評価されている。チリは世界トップ25の食品輸出国の一つであり、世界経済と密接につながっている。活発な食品の輸出入が行われ、これが品質を高めることにつながり、日本のように品質にこだわる国にも輸出ができるということにつながっている。

豚肉はチリの国内の食肉生産量のうち、鶏肉に次ぐ38%を占め、輸出に関しては食肉のうち58%を占めており、畜種別にみると最も多い。豚肉生産量のうち輸出向けは59%であり、輸出に非常に力を入れている。輸出先としては日本(24%)、韓国(25%)、中国(24%)といった東アジアが約75%を占める。チリは世界第5位の豚肉輸出国だが、世界の輸出大国とは差がある。しかし、規模が大きくないからこそ顧客



に寄り添った対応が可能であり、市場に合わせた対応がチリポークの特長といえる。日本市場への豚肉供給国としては第7位だ。

チリの豚肉産業は独自の統合生産モデルを実現。100%のトレーサビリティを可能にしている。全ての企業が生産の全段階をコントロール。さらに品質を確保する16の官民連携プログラムがある。バイオセキュリティについては、積極的な監視とモニタリングシステムを構築。さらに自主報告と従業員研修システムも設けている。ASFの侵入予防にも全力を尽くしており、小規模の養豚農家までバイオセキュリティ基準を適用。探知犬や旅行者への啓発キャンペーンも実施している。野生イノシシの分布調査や日本を含めた重要市場とのゾーニング協議も行っている。チリはPRRSの清浄国でもある。

食品の安全性については、化学残留物を徹底管理。医薬品、汚染物質、農薬に関する食肉の検査、禁止物質に対するスクリーニングも行っている。ラクトパミンは不使用。抗生物質を段階的に削減している。

サステナビリティにも重きを置いている。産業の成長は重要だが、それを達成するのにどうするかも重要だ。天然資源を保護して、全ての段階で環境を守っていかうとしている。アニマルウェルフェアへの取り組みにもコミットメントしており、国際的な認証プログラムも取得。団体飼育用妊娠ストールの導入や農場での環境エンリッチメントを実施している。

チリポークは、チリ農業省の公式プログラム「チリ・コンシャス・オリジン」の一員であることに誇りを持っている。SDGs指標に基づく国際基準であり、豚肉生産の77%が既に認証済みだ。(連載続く)

## 【東京食肉卸売市場】牛は買い気弱い、豚は強含みか

[牛] 連休後の消費疲れも加わり、和牛は軟調。3等級は需要に支えられて相場を維持したが、5等級はブランドや産地によっては高値をつけたが、品質や仕上がりによる価格と引き合いの格差が大きく、2300円台の日が続いた。交雑牛は中旬から落ち着いた相場が続いており、おおむね堅調。

父の日へ向けて量販店などではフェアやメニュー提案などが予定されており、サーロインなどにも問い合わせが出ているが、高級部位の動きはまだ鈍い。モモ、ウデなど赤身も動いているが、各社唱え値は抑えている。一部からは、米国の関税措置により輸出にマイナス影響を出ているとの話もきかれた。

今週から6月となり、東京市場では1日平均400頭ほどの上場を予定している。週明けは手当てが入るだろうが、買い気が弱く和牛去勢A5は2300~2400円、A4は2200~2300円、A3は2100~2200円弱もちあい。交雑牛去勢はB4が1600~1700円、B3

が1600円前後のもちあいが予想される。

[豚] 前週は上物、中物ともに700円を上回る価格を付けるなど、相場が急騰。関東でも気温の上昇とともに例年同様、枝肉相場は高値の展開となっている。

6月に入るが、今後はさらに出荷頭数が減少基調となっていくことが見込まれる。農水省の肉豚生産出荷予測(5月21日発表)によると、6月の出荷頭数は129万9千頭(前年同月比9%増)と前年から大きく増加を予想しているものの、平年比では微減の予測となっており、決して出荷頭数が多いわけではなさそうだ。一方、6月は梅雨時であり、需要を喚起するようなイベントなどもない時期。引き続き末端消費は盛り上がりかけそう。また、国産相場の上昇から一部では輸入物へのシフトなどもみられる。

それでも出荷頭数が少ない中で、相場は強含みの展開か。

## 【大阪市食肉卸売市場】

### 牛は大きなイベントがなく軟調見込み、豚は変わらず高値が続く

[牛] 6月は「父の日」以外に主だったイベントがないことから、和牛の販売状況は芳しくない。このため和牛は5等級を中心に軟調となっており、今週も同様だろう。

一部の引き合いが強い枝肉については高値まで競り上がっているが、それ以外の和牛は現在の4等級価格である2100円程度と大きく変わらない価格まで落ち込んでおり、全体的な需要の弱さが感じられる。

万博来場者数は伸長しているが、その影響で自店舗の外国人観光客が増えたり、和牛販売が伸びたという話は、特定の名所以外ではあまりきかれず、インバウンドの局地化は新たな課題といえる。

[豚] 前週は700円前後の価格となり、かなりの<sup>ひっばく</sup>逼迫状況となっている。今週も国産・輸入豚の頭数不足を受けて、間違いなく高値となるだろう。

## マルチバック・ジャパンが新潟支店開設、6月2日から業務開始

マルチバック・ジャパン(株)(大沼謙一郎代表)はこのほど、販路拡大に伴い、顧客へのサービス向上のため、新潟支店を開設し、6月2日から業務を開始する。概要は次の通り。

所在地 〒950-0950 新潟市中央区鳥屋野南3丁目10番26号(新潟交通「とやの中央病院前」また

は「女池愛宕前」から徒歩8分)▷機械販売に関する問い合わせ:本社営業課 電話029(828)5057/FAX029(828)7740▷機械のメンテナンス/部品販売に関する問い合わせ:カスタマーサポート 電話029(828)5087/FAX029(828)7742

**[資料] 食肉加工品生産数量調査報告書 (2025年4月分)**

(単位: トン,%)

銘柄	生産数量	対前年同月比	2024年累計	対前年同期比	
ハム類	ロースハム	5,351.3	92.9	18,580.2	89.8
	ボンレスハム	470.3	101.4	1,682.2	98.6
	骨付きハム	5.6	71.8	20.0	81.6
	ラックスハム	749.5	100.4	2,692.9	95.8
	ベリーハム	2.4	104.3	9.3	108.1
	ショルダーハム	95.3	81.2	392.6	92.8
	その他ハム	852.5	95.0	2,944.5	81.6
	小 計	7,526.9	94.1	26,321.7	90.0
ベーコン類	ベーコン	6,869.9	92.5	24,913.1	90.0
	ロースベーコン	0.7	140.0	1.7	53.1
	ショルダーベーコン	418.5	109.9	1,467.9	100.2
	その他ベーコン	208.1	110.2	728.1	107.5
	小 計	7,497.2	93.8	27,110.8	90.9
ソーセージ類	ウインナーソーセージ	19,998.2	99.7	73,012.7	97.7
	フランクフルトソーセージ	3,217.2	100.9	10,004.5	95.4
	リオナソーセージ	431.0	98.6	1,458.4	90.4
	ポロニアソーセージ	1,151.3	96.8	4,267.7	95.3
	ドライソーセージ	602.9	97.3	1,954.3	93.5
	セミドライソーセージ	21.1	88.7	81.1	100.0
	レバーソーセージ	5.7	111.8	13.4	95.0
	レバーペースト	0.8	80.0	3.2	82.1
	加圧加熱ソーセージ	2.3	51.1	7.9	51.3
	無塩漬ソーセージ	839.7	97.1	3,092.0	95.7
	混合ソーセージ	0.6	120.0	2.0	100.0
	加圧加熱混合ソーセージ	0.6	100.0	2.3	92.0
	その他ソーセージ	372.2	60.5	1,427.3	84.9
	小 計	26,643.6	98.6	95,326.8	96.8
プレスハム類	プレスハム	335.5	40.9	1,115.0	39.1
	混合プレスハム	0.0	0.0	0.0	0.0
	チョップドハム	1,540.3	148.6	5,173.8	147.0
	小 計	1,875.8	101.0	6,288.8	98.7
合 計	43,543.5	97.1	155,048.1	94.6	
ポークソーセージ	15,664.2	103.6	56,553.7	100.8	
サラミソーセージ	90.3	96.2	305.8	98.9	
ハンバーグ類	1,879.7	90.0	6,948.5	92.9	
焼き豚	1,835.7	111.1	6,248.5	108.5	
その他	4,055.4	95.6	14,354.9	97.5	

- 注) 1. 生産数量は食肉加工工場より報告された数量である。  
 2. ポークソーセージはウインナー、フランク、ポロニアの内数である。  
 3. サラミソーセージはドライ、セミドライの内数である。

資料: 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」  
 (公益社団法人日本食肉協議会委託事業)

[資料] 2025年4月分の食肉輸入通関実績⑨

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
TAIWAN	106 KG		126	403	126	403
VIETNAM	110 KG		58800	12761	156000	34363
THAILND	111 KG		42000	12432	137427	58695
MYANMAR	122 KG		224100	63875	646273	187510
INDIA	123 KG		22620	11747	83170	45623
BANGLA	127 KG		25000	10973	25000	10973
AFGNSTN	130 KG		-	-	663	1008
NEPAL	131 KG		1500	1122	1830	1741
KYRGYZ	154 KG		1362	883	8287	7731
FRANCE	210 KG		1585	3825	8994	22266
GERMANY	213 KG		7559	10149	25170	26788
SWITZLD	215 KG		5969	9659	9410	17475
SPAIN	218 KG		20791	17823	64175	68450
ITALY	220 KG		12842	23699	22347	43495
FINLAND	222 KG		-	-	504	1370
AUSTRIA	225 KG		306	550	3876	7225
HUNGARY	227 KG		287658	192923	557890	477197
GREECE	230 KG		3000	5262	4267	7965
ROMANIA	231 KG		3618	6444	130117	77560
BULGAR	232 KG		24176	16857	51620	46946
TURKEY	234 KG		-	-	19929	33519
ESTONIA	235 KG		482	1200	1810	4250
LITHUAN	237 KG		-	-	1041	1236
UKRAINE	238 KG		19261	6564	39364	12828
SLOVENI	242 KG		-	-	70	354
CANADA	302 KG		522120	346831	1409168	1084408
USA	304 KG		885	4092	885	4092
MEXICO	305 KG		38350	14393	59969	26051
BRAZIL	410 KG		600	1170	3800	4177
ARGENT	413 KG		157335	68918	491535	214159
AUSTRAL	601 KG		23177	44709	65581	127099
NEWZELD	606 KG		134881	481490	325644	1143466
TOTAL	990 KG		4447062	2113207	16505449	7156387
(E. U)	991 KG		362017	278732	871881	785102
0410.10-000	食用の昆虫類(他の項に該当するものを除く。)					
CHINA	105 KG		-	-	2008	8648
TAIWAN	106 KG		-	-	300	6864
VIETNAM	110 KG		2523	1313	9817	5539
THAILND	111 KG		51	1494	120	3665
TOTAL	990 KG		2574	2807	12245	24716
0410.90-100	あなつばめの巣					
MALYSIA	113 KG		412	34730	1445	127104
INDNSIA	118 KG		-	-	99	13844
TOTAL	990 KG		412	34730	1544	140948
0410.90-200	食用の動物性生産品(他の項に該当するものを除く。)(昆虫類、あなつばめの巣及びプロポリス原塊を除く。)					
CHINA	105 KG		-	-	68	6291
VIETNAM	110 KG		-	-	6	1386
BRAZIL	410 KG		-	-	25	632
TOTAL	990 KG		-	-	99	8309
0410.90-300	プロポリス原塊					
BRAZIL	410 KG		3500	75213	5730	122202
TOTAL	990 KG		3500	75213	5730	122202
0502.10-000	豚毛及びいのししの毛並びにこれらのくず					
CHINA	105 KG		1625	7742	7650	37201
INDIA	123 KG		-	-	425	4524
TOTAL	990 KG		1625	7742	8075	41725
0502.90-000	あなぐまの毛その他ブラシ製造用の獣毛及びこれらのくず(豚毛及びいのししの毛並びにこれらのくずを除く。)					
CHINA	105 KG		198	6067	1878	45360
U KING	205 KG		2	4271	56	36978
TOTAL	990 KG		200	10338	1934	82338
0504.00-011	動物(魚を除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
CHINA	105 KG		236978	1197059	851595	4118607
MONGOL	107 KG		5015	52120	9463	98989

(単位: 1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
USA	304 KG		23546	48398	40886	89867
URUGUAY	412 KG		220	234	220	234
AUSTRAL	601 KG		64986	326681	238965	1111984
NEWZELD	606 KG		65254	299466	143803	692921
TOTAL	990 KG		395999	1923958	1284932	6112602
0504.00-012	牛の腸(ソーセージケーシング用のものを除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
SPAIN	218 KG		3685	1377	47060	22742
ITALY	220 KG		-	-	517	478
CANADA	302 KG		45328	13840	196743	61631
USA	304 KG		803173	377805	3533670	1806081
MEXICO	305 KG		84697	26891	514669	179404
PANAMA	312 KG		-	-	3930	1826
AUSTRAL	601 KG		28824	14779	167481	67892
TOTAL	990 KG		965707	434692	4464070	2140054
(E. U)	991 KG		3685	1377	47577	23220
0504.00-019	動物(魚を除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
SPAIN	218 KG		11320	6905	15420	9693
POLAND	223 KG		-	-	6085	3394
CANADA	302 KG		24300	16718	170300	120901
USA	304 KG		148821	61861	406476	202746
MEXICO	305 KG		22751	11068	74218	38513
PANAMA	312 KG		1485	372	8060	2064
CHILE	409 KG		1000	650	11090	7003
BRAZIL	410 KG		500	225	1500	689
URUGUAY	412 KG		6960	3554	33660	17758
ARGENT	413 KG		1164	467	3168	1176
TOTAL	990 KG		218301	101820	729977	403937
(E. U)	991 KG		11320	6905	21505	13087
0504.00-091	牛のぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
IRELAND	206 KG		3066	4027	5616	7359
SPAIN	218 KG		7091	5485	20954	13222
ITALY	220 KG		-	-	2242	1710
FINLAND	222 KG		-	-	2518	410
AUSTRIA	225 KG		-	-	17062	10935
CANADA	302 KG		-	-	9006	12327
USA	304 KG		105186	150782	268267	393197
MEXICO	305 KG		30671	17456	78425	43915
NICARAG	310 KG		29302	54843	89690	177292
CST RCA	311 KG		23891	37790	33523	60748
PANAMA	312 KG		12696	22691	33945	82713
CHILE	409 KG		26313	37265	51600	72972
AUSTRAL	601 KG		192545	184688	667863	687135
NEWZELD	606 KG		22997	27123	76840	108396
TOTAL	990 KG		453758	542150	1357551	1672331
(E. U)	991 KG		10157	9512	48392	33636
0504.00-099	動物のぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(牛のものを除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
THAILND	111 KG		216756	90062	1246914	535564
ICELAND	201 KG		-	-	525	221
SPAIN	218 KG		-	-	7500	3804
MEXICO	305 KG		-	-	1195	925
PANAMA	312 KG		480	240	1860	980
CHILE	409 KG		-	-	3024	922
BRAZIL	410 KG		168627	30838	500507	98485
AUSTRAL	601 KG		-	-	34790	8445
NEWZELD	606 KG		3747	31301	10044	77662
TOTAL	990 KG		389610	152441	1806359	727008
(E. U)	991 KG		-	-	7500	3804
0505.10-000	綿毛及び詰物用の羽毛(加工してないもの及び単に清浄にし、消毒し又は保存のために処理したもの)					

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 5月30日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	2,967	2,424	2,115	2,003	-
		安値	2,214	2,161	2,001	1,350	-
		平均	2,371	2,233	2,063	1,681	-
	55頭	頭数	30	21	2	2	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	2,017	-	-
	1頭	頭数	-	-	1	-	-
	去 A	高値	3,037	2,321	2,179	-	-
		安値	2,176	2,165	1,844	-	-
		平均	2,384	2,226	2,096	1,351	-
		83頭	頭数	57	22	3	1
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	-	1,661	1,515	
		6頭	頭数	-	-	5	1
	雌 C	平均	-	-	1,512	1,452	
		2頭	頭数	-	-	1	1
	去 B	平均	-	1,576	1,556	1,469	
25頭		頭数	-	6	15	4	
去 C	平均	-	-	1,378	1,460		
2頭	頭数	-	-	1	1		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	404 226	696 967	- 138.0	(競り)	(相対)	
				-	14	41

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,211	1,761	1,399	1,329	-
	B	1,557	-	1,348	1,326	1,057
和 去	A	2,714	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	546	946
	C	-	-	-	936	887
乳 去	B	-	-	-	1,199	-
	C	-	-	-	1,160	-
交 雌	B	-	1,800	1,356	1,340	-
	C	-	-	-	1,284	879
交 去	B	-	1,591	1,498	1,556	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	793	841	788	767	694
	安値	756	704	659	443	216
	平均	770	743	709	673	503
	頭数	( 13)	( 277)	( 365)	( 206)	( 106)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
搬入 相対	高値	-	721	-	518	486
	安値	-	721	-	464	389
	平均	-	721	-	492	431
	頭数	( -)	( 6)	( -)	( 3)	( 5)

[大阪食肉卸売市場] 5月30日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ]は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,601	2,191	-	-	-
(頭数)	( 7)	( 6)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
和 去 A	2,458	2,195	1,992	-	-
(頭数)	( 16)	( 11)	( 1)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,741	-	-	-
C	-	-	-	1,531	-
交雑去 B	-	1,749	1,667	1,512	-
C	-	-	1,601	1,545	-
豚	-	672	657	524	486

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	5月30日	5月29日	(5月累計)
豚	59,200	62,100	1,272,100
成牛計	3,950	3,310	82,000
和牛雌	1,150	750	20,930
和牛去勢	830	730	21,170
乳牛雌	660	760	12,480
乳牛去勢	250	430	8,880
交雑雌	590	280	8,660
交雑去	460	360	9,820

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 5月30日

	1,522円	(前日 1,559円)
東京		
大阪	1,645円	(前日 1,642円)

[豚・全農建値] 5月30日

上	中	取引頭数	市況
743円	720円	1,004頭	急伸

と畜 売買	牛	豚	牛概況	豚概況	続伸 まぢまぢ
	73頭	148頭			
	75頭	70頭			

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 5月30日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	670 (670)	- (-)	5,690	-	もちあい
仙台 [中]	684 (665)	617 (598)	435	21	続伸
栃木 [地]	738 (724)	635 (683)	1,519	46	上伸
茨城 [地]	733 (733)	701 (704)	1,037	454	もちあい
群馬 [地]	799 (759)	725 (662)	1,821	200	続伸
さいたま [中]	755 (741)	747 (730)	203	200	続伸
東京 [中]	743 (717)	709 (690)	696	967	急反発
横浜 [中]	733 (727)	704 (698)	632	622	続伸
山梨 [地]	- (710)	- (681)	97	4	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	735 (717)	709 (682)	872	168	続伸
京都 [中]	651 (677)	590 (640)	71	67	もちあい
大阪 [中]	672 (-)	657 (706)	148	38	まちまち
神戸 [中]	656 (667)	646 (651)	-	48	下押し
岡山 [地]	638 (655)	635 (644)	293	265	弱気配
広島 [中]	690 (-)	674 (-)	234	46	反発
福岡 [中]	695 (680)	662 (647)	435	190	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 5月23日～5月29日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,746,969 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,144	1,189	1,242	1,198	87,516
うで	788	821	865	826	152,386
ロース	1,026	1,134	1,215	1,118	161,893
ばら	1,166	1,220	1,274	1,213	165,573
もも	815	829	860	834	220,859
ヒレ	1,091	1,234	1,295	1,209	12,034
セット	996	1,061	1,096	1,056	946,708

◇近畿圏 総重量 736,493 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,211	1,295	1,355	1,298	54,676
うで	766	799	821	796	125,143
ロース	1,079	1,216	1,301	1,201	83,906
ばら	1,231	1,278	1,318	1,272	134,735
もも	770	824	853	819	176,566
ヒレ	1,188	1,347	1,375	1,317	11,823
セット	964	1,037	1,162	1,053	149,644

[食鳥正肉日経相場] 5月29日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	763	838	1,016	188
ムネ	447	509	641	174

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	777	832	1,030	3
ムネ	451	506	590	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 5月29日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,114	717	550	600	650
安値	783	432	290	360	350
平均	855	515	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

# 食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

### ■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

### ■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

### ◆食肉販売&経営関連

## 銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

## 銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

### ◆イベント

#### ■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



## 食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで  
お近くの食肉通信社まで

# 株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願い致します。

## 週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランクカット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

## 日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

## 月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

### ◆教材&レポート等

#### ■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男  
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

#### ■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

#### ■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

#### ■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

### ◆ステーションリー

## 食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します